

第 14 期福祉のまちづくり推進協議会第 4 回専門部会の主な意見概要

令和 5 年 9 月 4 日開催（書面開催）

資料 2 東京都福祉のまちづくり推進協議会意見具申（案） について

第 1 章 都におけるバリアフリーをめぐる現状

【国等の動向について】

- ・国連からの総括所見・改善勧告の例示について、災害時対応とインクルーシブ教育が明示され、他は「数多く」でまとめられているが、「建築設計者や技術者などの専門家のためのアクセシビリティ能力構築計画の強化」について、重要な勧告と考えるため追加できないか。

【東京都福祉のまちづくり推進計画事業の主な実施状況】

- ・各項目の【取組の成果】について、「今後も継続していく必要がある」といった表現があるなど、タイトルと内容がややずれていると思われる。今後のことについても言及するのであれば見出しを変えたり、「成果」とは分けたりした方が良いように思う。
- ・点字による即時情報ネットワーク事業について、何を伝える情報なのかを書き添えるべきである。
- ・手話のできる都民育成事業について、講習会修了者数のみが掲載されているが、ハンドブックも配布しており、評判もよいので発行部数も入れてはどうか。
- ・ヘルプマークの推進について、ヘルプマーク（カード）に注意を払う人は少なく、乗り物の中でも席を譲られることが少ない。これは、ヘルプマークの認知度が低いことも考えられるので周知徹底を図っていければと考える。

【福祉のまちづくりに関する都民の意識調査結果】

- ・案内表示などの整備に関して、20 代でのスマートフォンのアプリ等を活用した情報提供が記載されているが、現在と今後の高齢者の占める割合等を考えると、70 歳以上の方が「大きい文字で表示する」、「わかりやすい場所に設置する」を多く選択したことは記載しておいた方が良いのではないか。こうしたハード面も検討しつつ、誰もがスマートフォン等のデジタル技術の利用に向けた支援を行っていくことが重要ではないかと考えている。

第 2 章 東京都福祉のまちづくり推進計画策定に向けた今後の主な課題と方向性

1 誰もが円滑に移動できる交通機関や道路等のバリアフリーの更なる推進

【(1) 交通機関におけるソフト・ハード両面からのバリアフリーの推進】

- ・エレベーターに人が並んでいて車椅子でなかなか乗れない問題がある。優先エレベーターの適正利用などの心のバリアフリー啓発に加え、特に利用客が多い駅はエレベーター自体の大型化助成や設計標準の見直しも検討すべき。
- ・トイレや駅構内の案内設備等については、公共交通機関の旅客施設・車両等・役務の提供に関する移動等円滑化整備ガイドラインに記載されている「標準的な整備内容」に基づいて整備している。事業者間で連携した案内サインの改善は、駅による特性もある。また、バリアフリーに関する情報

全般を情報提供することが望ましいため、表現を変更した方が良いのではないか。

- ・無人駅については、知的障害者も困った時に誰にどう連絡してよいか困るとい声が多い。「～環境整備を図るとともに、利用者との連絡手段を明確にし、必要に応じて人員を派遣する～」と連絡手段の明確化を加筆していただけないか。

2 全ての人が快適に利用できる施設や環境の整備

【(1) 建築物等におけるソフト・ハード両面からのバリアフリーの推進】

- ・宿泊施設の情報発信に関して、快適性は具体的に「客室のしつらえや設備を図面や写真を併用して情報発信していくことが必要」と修文した方が良いのでは。
- ・車椅子利用者用駐車施設の普及と適正利用に加えて、「適正利用」については、外見からはわからないがそこを必要としている人もいることから、車椅子利用者以外を排除することのないような用語の説明が必要ではないか。

【(2) 公園等におけるソフト・ハード両面からのバリアフリーの推進】

- ・歴史的庭園のバリアフリー化の検討について入れるべきである。

4 共生社会実現に向けた心のバリアフリーの理解促進

- ・「適正利用」という言葉をめぐる意見が前回の専門部会で提示されていた。代替案として、「理解と認識を深めるべく」くらいにすると、見た目でもわからずともバリアフリー設備を必要とする人の理解も含まれるのではないかと思う。
- ・インクルーシブな教育は、ただ一緒の場で学習しても実現しないと思うため、「個々の違いを認め合い」という言葉を追加した方が良いのではないか。
- ・「心のバリアフリーに関する授業の展開」という箇所にも、授業以外の例えばパラアスリートによる交流などの取組も想定して「取組」を加筆してはいかがか。
- ・議論の中で、障害者が日常的に社会の差別・偏見の中で生きているという視点が欠落している気がする。障害者が生きるためには、この差別偏見とたたかい、これを克服していかなければならないという観点が不可欠であるということを改めて申し述べておきたい。

第3章 推進計画の策定に向けた基本的事項

- ・計画の目標に、「互いの人権や尊厳を大切にし」という文言を追加してはいかがか。
- ・スパイラルアップという用語自体がわかりにくいと思う。したがって、カッコ内に「検証・評価に基づき、継続的な改良や改善を行うこと」など意図している内容を説明さしたほうが良いように思う。